



上郷小スクールプラン2020

めざす学校

変化の激しい社会の中で、たくましく生き抜いていく力を育てる学校

目をかけ
手をかけ

学校の取り組み

1 について

- 授業では、児童の取り組みを認め、褒め続ける。
- 『家庭学習の手引き』による学び方を指導し、習慣化を図る。

2 について

- 仲間の気持ちや考えを大切にする集団づくりを行う。
- 言語活動を充実させ発表する機会を増やす。

3 について

- 読書指導（図書館利用の推進、推薦図書の紹介、多読賞等）の充実を図る。

学校の教育目標

すすんで「学ぶ」子ども

1 意欲的に学び、分かるまで粘り強く取り組む子ども

- 諦めずわかるまで学習に取り組む。
- 家庭学習の目標時間：10分×学年+10分以上

2 自分の思いや考えを持ち、自信をもって伝える子ども

- 話し手の目を見て、最後まで話を聞く。
- 間違いをおそれず、発表をする。

3 進んで読書に親しむ子ども

- 年間目標：低学年70冊、中学年35冊、高学年3000頁

家庭の取り組み

1 について

- 取り組みの過程(頑張り)を認め、褒める。
- テレビを消し、静かな環境を作る。

2 について

- 学校の出来事について、親子で会話する。（顔を見て話を聞く）

3 について

- 週一で親子読書・読み聞かせに取り組む。（大人は新聞でも可）

1 について

- あいさつや言葉づかい運動等、児童会主体の取り組みを行う。
- 集会や学級であいさつの大切さを具体的に指導する。

2 について

- いじめの早期発見、早期対応をし、いじめを見逃さず指導する。
- 互いの違いを認められるよう、異年齢活動や学級活動の取り組みを工夫する。

3 について

- 学級の仕事や委員会活動など、進んで働く態度を育てる。

美しい心で「表現する」子ども

1 あいさつや感謝の言葉を自分から言える子ども

- 「あ」かるく「い」つでも「さ」きに「つ」づけて、あいさつをする。
- 「ありがとう」と声に出して伝える。

2 自分も友達も大切にし、助け合って活動する子ども

- 誰にでもふわふわ言葉で話しかける。

3 自分の役割を果たし、集団のために行動する子ども

- 自分の仕事や後かたづけを最後まで行う

1 について

- 親が手本となってあいさつを交わす。「おはよう」「いただきます」「ただいま」「いただきます」「おやすみなさい」

2 について

- 問題があれば、すぐ学校へ報告し、学校と力を合わせて早期解決を図る。

3 について

- 家族の一員としての役割を与え、一仕事に取り組ませる。

1 について

- メディアの使い方を指導する。（親子講演会、情報モラルの授業）
- 交通安全指導を徹底する。

2 について

- 基本的な生活習慣と生活リズムの大切さについて指導する。
- 食育指導を充実させる。（朝食しらべ、給食指導等）

3 について

- 休み時間や授業の中でマラソン、サーキット、縄跳びなど年間を通じて取り組ませる。
- 外遊びを推奨する（遊ぶ場の設定や遊び方の工夫）

つよい体に「きたえる」子ども

1 自分の健康や安全のために、ルールを守れる子ども

- ゲームやネットの利用は1時間以内
平日：1時間30分以内（テレビ含む）
休日：2時間以内（テレビ含む）
夜8時になったらゲームやネットは止める。

2 基本的な生活習慣が身についている子ども

- 毎日、早寝・早起き・朝ごはんを守る。

3 目標を持って、自分から体を動かす子ども

- 1日に1回以上、外(体育館)で体を動かす。

1 について

- 就寝の最低1時間前にはメディアとの接触を止め、質のよい眠りを確保する。
- 家族で決めたルールを守る。

2 について

- 低：9:00就寝 6:30起床
中：9:30就寝 6:30起床
高：10:00就寝 6:30起床
・バランスのよい朝食をとる。

3 について

- 徒歩通学をさせる。

